

令和4年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022-012

プロジェクト名 長屋と人が「活き粋」改革！！

プロジェクトの概要

【未来へと持続する街をつくりたい！】

東京墨田区向島地域に古くから残る、住居同士を薄い壁一枚で仕切った集合住宅「長屋」は心身ともに密接で、人情味のある暮らしを育んできました。

私たちがその暮らしに共感し、心を引きつけられるのは、現代の生活で失ってしまった大切なものが、そこに集約されているからであると考えます。

そこで、私たちはこの地域に残る長屋文化の魅力を調査し、未来へと持続していくための一助となる活動を目指します。

プロジェクトの結果・成果

私たちは長屋暮らしの魅力を内外に発信するために、自らが学び、調査した後、建築学生として模型や紙面を駆使してまとめることにしました。

向島地域で毎年10月に1ヶ月間行われる「すみだ向島 EXPO」が主催する「街なか博覧会」に出展させていただくことを最終的な活動の目標にし、5月から本格的に始動しました。

展示をさせていただける募集や伝手もない中、主催をする街の住民方や関係者様に直接尋ねに行き、5月から8月の期間、様々な街の催し事の参加や自分たちで企画したフィールドワークの機会です。少しずつ街の方々と顔見知りになり、出展に向けアポイントをし続けました。

9月に無事、出展への段取りが付き、日本大学 自主創造PJ「長屋と人が『活き粋』改革!!」という企画名で10月29日と30日の2日間、一寺言問集会所で出展させていただきました。

出展作品のテーマは昔ながらの風景が残る街を舞台に人がイキイキと暮らし続けられる場の提案です。プライバシーは人間関係を閉じることではなく、セキュリティも豊かな人間関係によって十分守れると考え、私たちは「煩わしい」と思い込んでいた人間関係を再び推進させるべく、街を下町人情が溢れ出る空間へと再構築しました。

当日は活動中に関わらせていただいた方々など、約50名の皆様に来場していただき、多くの出会いやご感想を頂くことができました。特に実際の長屋に今も住んでいる住民の方に今回の活動を褒めていただいた時は達成感を感じました。

今回のプロジェクトでは、普段の大学での課題とは違い、リアルな人とのコミュニケーションを介すことで、建物を計画する一部始終の体験を仲間と協力してできたように思えます。

この活動を通して、人との対話の重要性に気付かされました。

活動写真

